

公益財団法人いわてリハビリテーションセンター地域連携だより

ななつのはすく

～人と地域と未来をつなぐ～

人生100年時代のリハビリテーション



公益財団法人

いわてリハビリテーションセンター

Iwate rehabilitation center

第2号

2026.1

いわて リハビリテーションセンター



2024年度

数字で
見る!



専門・認定資格取得者の数



当センターには多数の専門・認定資格取得者が在籍。質の高いリハビリテーション医療を提供するために日々研鑽を続けています。

2025年4月1日現在

リハビリテーション専門医	4人
脳卒中専門医	2人
脳神経外科専門医	2人
脳神経内科専門医	2人
整形外科専門医	1人
回復期リハ病棟認定看護師	6人
摂食嚥下障害看護認定看護師	1人
専門理学療法士 4領域	3人
認定理学療法士 6領域	12人
認定作業療法士	2人
回復期病棟協会セラピストマネージャー	14人
認定社会福祉士 (医療分野)	2人
認定医療ソーシャルワーカー	3人

患者紹介から 入院受入決定 までの日数

1.0日

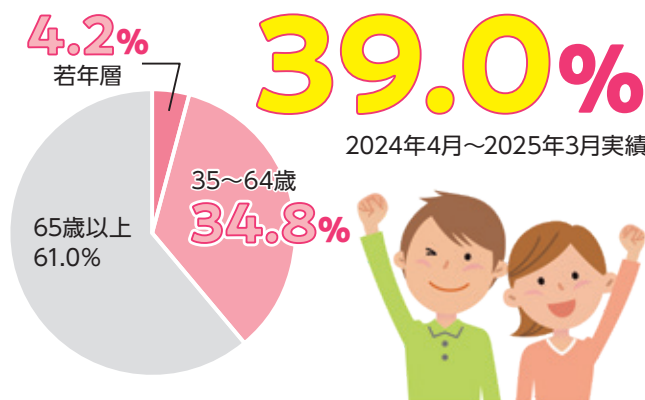
当センターでは急性期病院からの患者紹介に対して、出来るだけ早く受け入れの返事をして、その後も出来るだけ早く入院受け入れが出来るよう院内及び院外連携を図っています。



患者紹介から 入院までの日数

9.1日

入院患者のうち 現役世代の割合

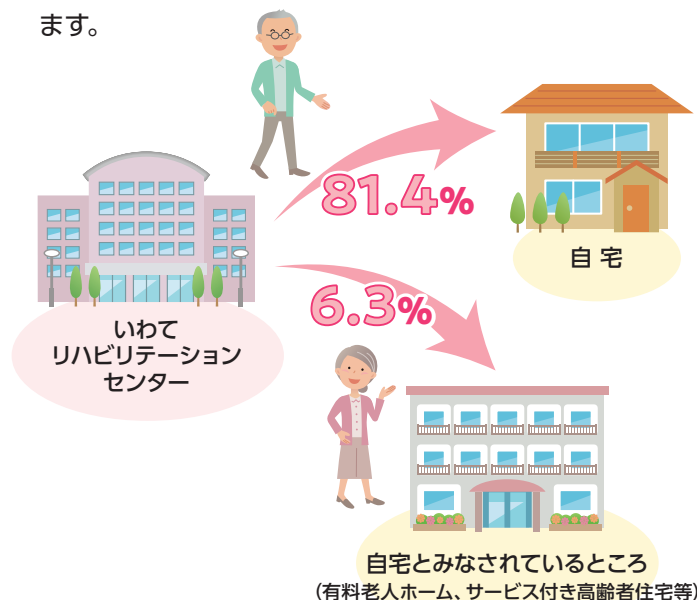


当センターでは、復学や復職、運転再開支援が必要とされるであろう若年層 (15歳未満も含む) から現役世代 (一般的に15歳から64歳までを指す) の方の受入れも積極的に行っています。

在宅復帰率

87.7%

在宅復帰率とは、病院から自宅や有料老人ホーム等に退院された方の割合を示すデータです。当センターでは施設基準 (70%) を大きく上回る割合を達成しています。



重症患者改善率（回復率）

74.9%

入院中に重症の患者さんに対して集中的にリハビリを行ったことで、退院時に症状が改善された方の割合を示すデータです。当センターでは施設基準（30%）の倍以上となる割合を達成しています。



復職支援を行った人数



57人

当センターは働き盛り世代の患者さんが多く、「復職」が大きなニーズとなります。退院後すぐに復職につながるケースもあります。しかし多くは退院後も外来でリハビリテーションを継続し、復職を目指していくこととなります。最終的なゴール達成のため当センターだけでなく、会社、障害者職業センター、就労移行支援事業所、訪問リハビリ事業所などの多機関・多職種が復職支援そして両立支援で関わっていきます。

サービスが不要で社会復帰を果たした人数

130人

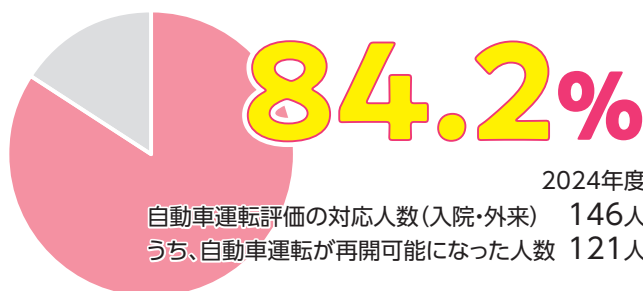
患者さんの中には退院後、そのまま社会復帰につながるケースもあります。障害や不自由が残ったとしても介護保険等の福祉サービス利用で社会参加している方もいます。社会参加は何らかの形で地域とつながっているという自己肯定感につながります。



サービス利用で社会参加につながった人数

157人

自動車運転が再開可能になった人の割合



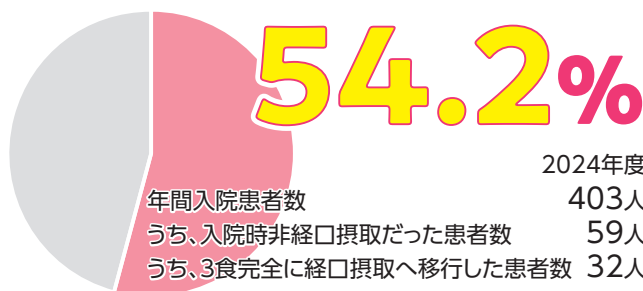
脳の損傷による注意障害等により自動車運転が難しくなってしまう場合があります。当センターでは、自動車運転再開に向けての評価診断を実施しています。評価診断の結果をもとに主治医が診断書（岩手県公安委員会指定）を記載、最終的な自動車運転可否の判断は、岩手県公安委員会が行います。

《評価診断内容》

- ① 診察
- ② 神経心理学的検査
- ③ 自動車運転シミュレーター
- ④ 状況に応じて実車評価（教習所と連携）
- ⑤ 観察など総合的な評価



3食経口摂取に移行した患者さんの割合



3食経口摂取移行とは、お口から食事を召し上げられない状態から3食お食事を摂ることができる状態になることを示します。2024年度、当院の年間入院患者全体の割合のうち14.6%がお口から摂取できない状態で入院しています。2024年度の3食経口摂取移行率は、54.2%でした。2020年度からの3食経口摂取移行率の経年推移は、50%以上を維持しています。院内の摂食嚥下栄養チームのサポートを得ながら、早期に嚥下評価、摂食嚥下訓練を多職種アプローチで摂食嚥下リハビリテーションに取り組んでいます。



副センター長 ご挨拶



当センターは、平成5年からリハビリテーション医療における県下唯一の公的中核病院として運営を開始いたしました。

現在は公設民営として公益財団法人いわてリハビリテーションセンターが運営し、診療は回復期リハビリ病棟100床が主体となっており、それ以外に、障害者のみならず全ての住民が、住み慣れた地域で安心して快適に暮らせるよう、地域リハビリテーションの推進を行っております。患者さんの更なる機能回復と社会復帰を目指して職員一同努めて参りますので、今後も皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

副センター長 阿部 深雪



いわてリハビリテーションセンター 理念

私たちは、高度で先進的なリハビリテーション医療を追求し、患者さんとともに障がいの克服という「治癒」を目指すことにより、地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献します。

〔 診療実績・施設基準実績 令和6年4月～令和7年3月 〕

■患者数

新規入院患者数	371人
退院患者数	403人
外来患者数(延べ)	2,713人

■退院患者数 疾患別人数・平均在院日数

疾患名	疾患別人数	平均在院日数
脳血管疾患	231人	85.4日
外因損傷等	97人	75.0日
廃用症候群	33人	51.0日
神経系疾患	37人	78.9日
その他の疾患	5人	40.0日

■退院患者内訳

	男	女	合計
人数	248人	155人	403人
40歳未満	6.5%	6.5%	6.5%
40歳～59歳	27.0%	23.9%	25.8%
60歳以上	66.5%	69.7%	67.7%

在宅
復帰率

87.7%

重症患者
割合

52.8%

リハビリ
テーション
実績指数

53.8

編集後記

今年度の発刊が予定より遅くなり申し訳ございませんでした。今後は出来るだけ早く診療実績やアウトカムなどわかりやすく発信していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

医療連携部副部長 上田 大介

公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター

〒020-0503

岩手県岩手郡雫石町

七ツ森16番地243

TEL 019-692-5800

FAX 019-692-5807



発行／公益財団法人

いわてリハビリテーションセンター

2026年1月 第2号

印刷／杜陵高速印刷株式会社